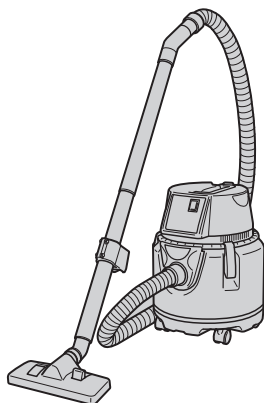
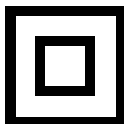
取扱説明書

Hitachi Koki

日立工機電動工具用集じん機

FRP 30 [乾湿両用]

このたびは日立工機電動工具用集じん機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

目　次　ページ

二重絶縁

HITACHI

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警 告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注 意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。
- 表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 作業に合った集じん機を使用してください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑥ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

⑦ 集じん機は、注意深く手入れをしてください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

⑧ 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、元の電源をOFFにしてください。
- 使用しない、または修理する場合。
- ホース、フィルタなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⚠ 警　告

⑨ **不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑩ **油断しないで十分注意して作業してください。**
- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 集じん機から離れて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑪ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。

⑫ **集じん機の修理は、専門店に依頼してください。**
- この集じん機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

回　二重絶縁について

　電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。

　二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

　異なった部品と交換したり、間違って組立てると、二重絶縁構造ではなくなり、危険です。

　電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

電動工具用集じん機の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、電動工具用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① 定格 15 A以上の電源コンセントを単独で使用してください。
他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。

② 以下のものは吸い込まないでください。
- 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
- 火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
- 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）。
- 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
- 木片、金属、石、ひもなど。
- セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
- 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。

③ フィルタは正しくセットして使用してください。
フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
モーター焼損などの故障の原因になります。

④ 機体やさし込みプラグに水や油などをかけたりしないでください。
この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。

⑤ 機体の吸込口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター焼損などの故障の原因になります。

⑥ フロートが動作したまま、またホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター焼損などの故障の原因になります。

⑦ 機体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
感電や故障の原因になります。

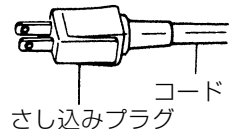
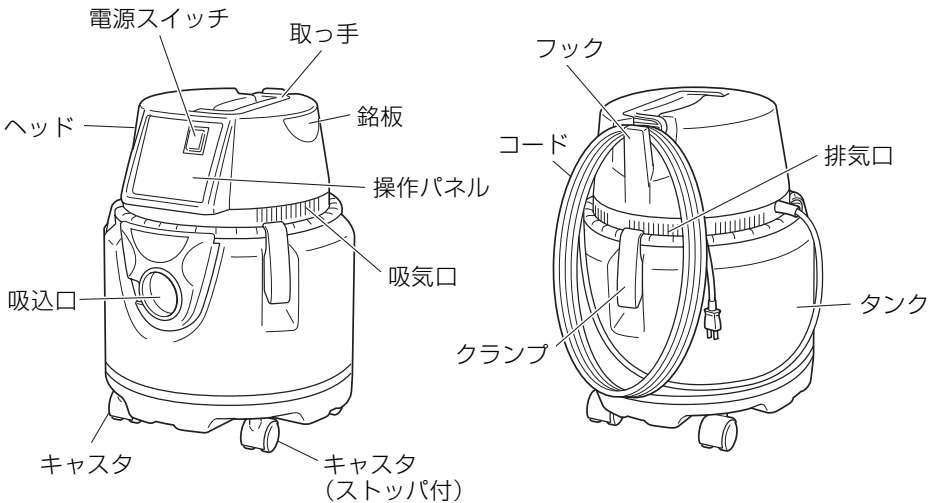
⚠ 警　告

⑧ **転倒などによる機体の変形、破損防止のため、機体は静かに移動してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑨ **誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

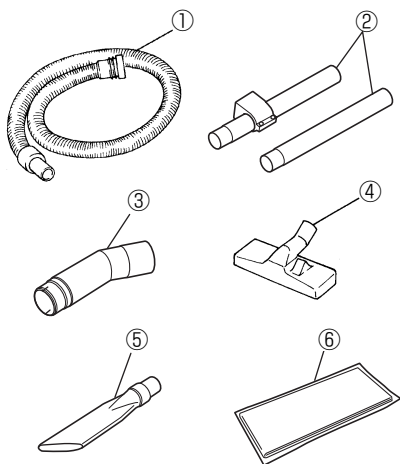
⑩ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑪ **この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。**
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

各部の名称

仕　　様

使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用　　電圧 100 V
モーター	単相直巻整流子モーター
用　　途	乾湿両用
電　　流	11.9 A
消費電力	1130 W
最大風量	3.2 m³／min
最大真空度	21.6 kPa｛2200 ㎜ 水柱｝
フィルタタイプ	布フィルタ
ホース	内径 φ 38 ㎜ × 長さ 1.8 m
集じん容量	10 L
吸水容量	10 L
外形寸法	奥行 340 × 幅 340 × 高さ 440 ㎜
質　量 ※	6.7 kg
コード	2 心キャブタイヤケーブル 5 m

※ 質量はコード、付属品を除く。

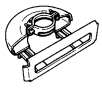
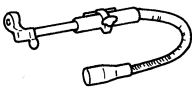
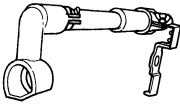
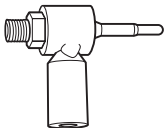
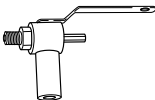
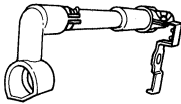
標準付属品

① ホース
（内径 φ 38 ㎜×長さ 1.8 m）・・・1 本
② 延長管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 本
③ ホース接続ハンドル・・・・・・・・・・・・・1 個
④ 床用吸口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 個
⑤ すき間用吸口・・・・・・・・・・・・・・・・・1 個
⑥ ポリ袋
（幅 530 ㎜×深さ 600 ㎜）
（10 枚入）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 個

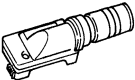
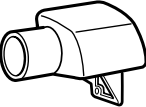
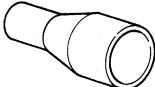
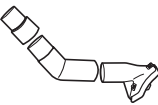
別売部品

（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

1．フィルタ・ホース・吸口など

部　品　名	コードNo.	用　途
紙フィルタ（5枚入り）	0032-3703	紙フィルタごと捨てることで、清潔にゴミ捨てができます。 水は吸引できません。 紙フィルタ使用時は、布フィルタまたは粉じん用フィルタを併用してください。
ナイロンフィルタ	323704	水、湿った粉じんを吸引するとき使用します。
ホース（帯電防止）（内径φ 38 ㎜）　長さ 2.5 m	320983	内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。 電動工具と接続しても使用できます。
長さ 5 m	321985	
ホース（帯電防止）（内径φ 25 ㎜×長さ 5 m）	320984	内径が細く5 mと長いため、電動工具と接続して使用するとき、使用します。
ホースカバー	320447	ホースと電動工具のコードを包み込み、物に引掛かりにくくします。
ホースバンド（ゴム製）	319984	ホース（内径φ 25 ㎜）と電動工具のコードを束ねて、物に引掛かりにくくします。（5個入り）

２．集じんアダプタ・ジョイント

⚠　警　　告
• 表中の適用製品名で消費電力300Wを超える電動工具は、この機体のさし込みプラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。

⚠　注　　意
• 乾燥した時期に集じん作業をすると、静電気を感じる場合があります。この場合は別売部品の帯電防止ホース（下記）を使用してください。 内径φ 38㎜×長さ5ｍ：コード　No.321985 内径φ 25㎜×長さ5ｍ：コード　No.320984

集じんアダプタ・ジョイントをお買い求めの際は、アダプタ［コードNo.320994］を合せてお買い求めください。

適用製品名	集じんアダプタ・ジョイント
ディスクサンダ用	［コードNo.986383］
100㎜ディスクグラインダ用（ダイヤモンドホイール使用時）	［コードNo.0032－3918］
125㎜・150㎜・180㎜ディスクグラインダ用（ダイヤモンドホイール使用時）	ホイルガードベースセット［コードNo.＊］＋集じんアダプタ［コードNo.309682］＋ジョイント［コードNo.319986］
カッタ用	［コードNo.986382］
振動ドリル用	［コードNo.＊］

＊適用コードNo.については、お買い求めの販売店にご相談ください。

（次ページへ続く）

（前ページからの続き）

適用製品名	集じんアダプタ・ジョイント		
振動ドリル用 ロータリハンマドリル用 コードレスロータリハンマドリル用	集じんアダプタ ［コードNo. 308776］	＋	ジョイント ［コードNo. 319986］
ロータリハンマドリル用	［コードNo. ＊］ ドリルビット専用 （錐径 5 ～ 18 ㎜ 長さ 209 ㎜まで）		
	集じんアダプタ ［コードNo. ＊］	＋	ジョイント ［コードNo. 319986］
ロータリハンマドリル用 （乾式ダイヤモンドコアビット使用時）	［コードNo. 315633］		
ダイヤモンドコアドリル用 （乾式ダイヤモンドコアビット使用時）	［コードNo. 314653］		
ハンマドリル用	［コードNo. ＊］ ドリルビット専用 （錐径 11 ～ 22 ㎜ 長さ 280 ㎜まで）		

＊適用コードNo.については、お買い求めの販売店にご相談ください。

適 用 製 品 名	集じんアダプタ・ジョイント
ルータ用	[コードNo.＊]
ジグソー用	[コードNo.＊]
	[コードNo.＊]
集じん丸のこ用	[コードNo.＊]
オービタルサンダ用 ランダムサンダ用	[コードNo. 300082]
かんな用	[コードNo. 313928]
卓上丸のこ用	集じんアダプタ [コードNo.＊] ＋ ジョイント [コードNo. 319986]
リフォーム用丸のこ用 丸のこ用	[コードNo. 0032－3720]
日立工機電動工具との接続用アダプタ	[コードNo. 320994]

＊適用コードNo.については、お買い求めの販売店にご相談ください。

用　　途

○ 作業場、その他の一般清掃。
○ 床にこぼした水などの液体吸引。
○ 電動工具でのコンクリートや木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん。

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認

この機体は二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ（延長）コード

⚠　警　　告
• 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源が離れているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ（延長）コードをできるだけ短くして使用します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm^2	10 m
2.0　mm^2	15 m
3.5　mm^2	30 m

左の表は、コードの太さ（導体公称断面積）によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

3．作業環境の整備・確認

作業する場所が 2 ページの「集じん機の安全上のご注意」①、②、④項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告
• ご使用前に次のことを確認してください。1〜3項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1．使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2．電源スイッチが切れていることを確かめる

電源スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。

電源スイッチ（5ページの図参照）は、「入」側を押すと入り、「切」に戻すと切れます。電源スイッチが「切」になっていることを必ず確認してください。

3．フィルタの確認

フィルタは15ページの「3．フィルタを取付ける」の項を参照のうえ、正しく取付けてください。

4．電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

使　い　方

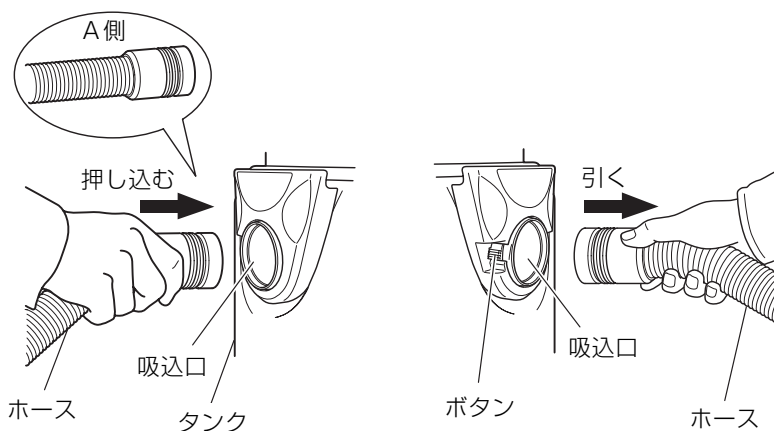
⚠　注　　意

- **ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。**
  急に機体が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。
- **乾燥した時期に集じん作業をすると、静電気を感じる場合があります。この場合は、別売部品の帯電防止ホースを使用してください。**

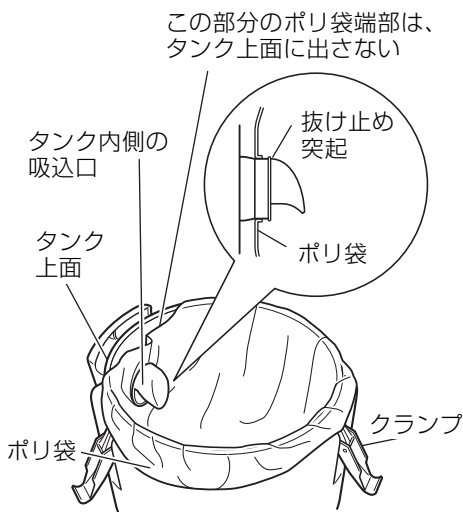
注 • **ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。**
ホースの変形などの原因になります。

1．ホースを接続する

付属品のホース（A側）をタンクの吸込口に「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。（下左図）

ホースを取りはずす場合は、吸込口のボタンを押しながらホースを引いてはずします。（下右図）

２．ポリ袋を取付ける（ポリ袋なしでも使用できます。）

注
- **ポリ袋には粉じんをためすぎないでください。**
  ポリ袋が破れる原因になります。
- **吸込口部のポリ袋の端部は、タンクの口元から出さないでください。（次ページの上図参照）**
  タンク上面からポリ袋の端部を全て出すと、ポリ袋がしぼみ、集じんできません。

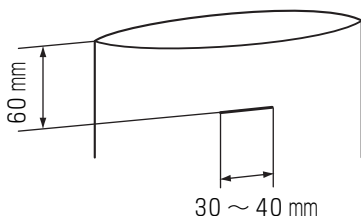
(1) 付属のポリ袋を使用する場合

(a) クランプ（３個）をはずして、取っ手（５ページの図参照）を持って引き上げ、ヘッドを取りはずします。

(b) タンク内側の吸込口にポリ袋の穴をさし込みます。このとき吸込口の抜け止め突起の奥側まで押し込みます。

(c) ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。
吸込口部のポリ袋の端部は、タンクの口元から出さないでください。

(d)「３．フィルタを取付ける」の項に従い、フィルタパッキン部がポリ袋をしっかりはさみ込むようフィルタを取付けます。

(2) 市販品のポリ袋を使用する場合

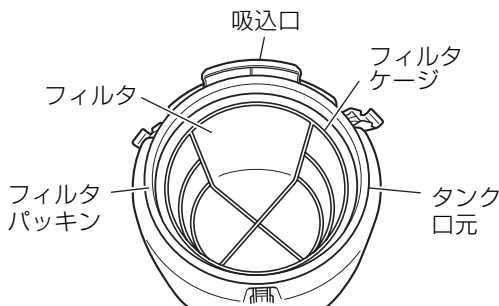
注
- **市販品のポリ袋は、２０Ｌ（幅530㎜×深さ600㎜）が使用可能です。ただし厚さ０.０４㎜以上のものをご使用ください。**

(a) ポリ袋の端部から約60㎜のところに30～40㎜の切りを入れます。

(b) ポリ袋の取付け、他は付属のポリ袋を使用する場合と同じです。

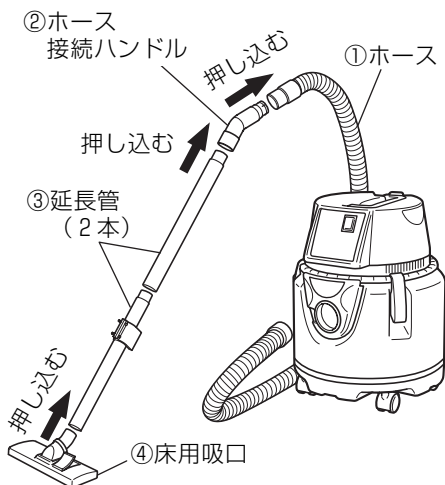
3．フィルタを取付ける

⚠ 警　告

- **布フィルタは、必ず取付けてください。**
  モーター損傷の原因になります。
- **サンディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする場合は、別売部品の紙フィルタを使用してください。詳細は、20ページの「10．紙フィルタ（別売部品）の取付け方」の項を参照してください。**
- **乾湿両用フィルタですので、水などの液体を吸水するときも取りはずさないでください。**

注　• **ナイロンフィルタ（別売部品）使用時にも、ナイロンフィルタの内側にフィルタケージが入っていることを確認してください。**

(1)　フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。

(2)　左図のようにフィルタケージが入っていることを確認してください。

4．床用吸口、延長管、他を取付ける … 掃除機として使用する場合

①ホース、②ホース接続ハンドル、③延長管、④床用吸口の順に接続します。

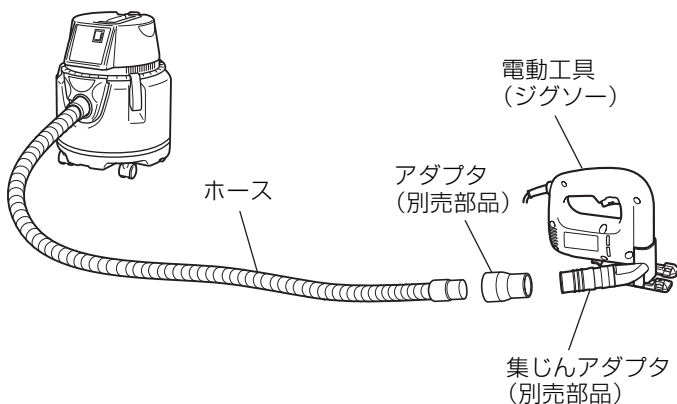
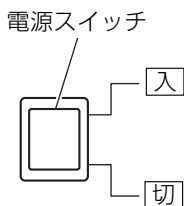
接続は、矢印方向に押し込みます。

用途によりすき間用吸口を取付けることもできます。

５．電動工具を接続する

⚠ 警　告
• 消費電力 300 Wを超える電動工具は、この機体のさし込みプラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。

注 • 電動工具と接続して使用する場合は、8 ～ 10 ページの「2. 集じんアダプタ・ジョイント」の項を参照し、別売部品を選択してください。

付属品のホースをアダプタにさし込みます。

６．電源スイッチの操作

「入」側を押すと機体が運転します。
「切」に戻すと機体が停止します。

7．フィルタの除じん

⚠ 警　告

- **必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**

⚠ 注　意

- **タンク内の粉じんがタンク中央部以上に堆積した場合、除じんが利きにくくなるので、粉じんは早めに捨ててください。**

使用中に吸込力が低下した場合、下記の手順で除じんしてください。

(1) クランプをはずして、ヘッド（5ページの図参照）を取りはずします。手順は、次の「8．粉じんを捨てる」の項を参照してください。
(2) フィルタがタンクに組込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたいて付着した粉じんを落とします。吸込力が回復します。
(3) ヘッド、クランプをもとの位置に取付けます。取付け方法は、次の「8．粉じんを捨てる」の項を参照してください。

8．粉じんを捨てる

⚠ 警　告

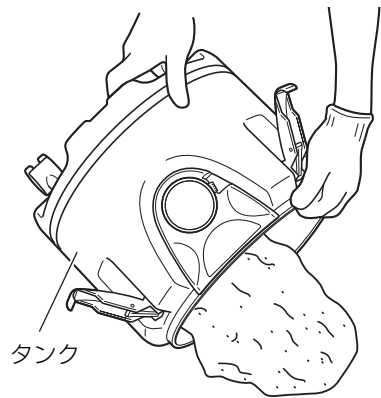
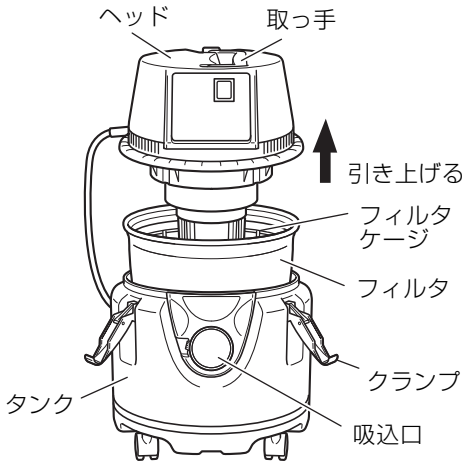
- **必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
- **タンク内に液体が入ったまま機体を横倒しにしないでください。**
  モーター部、スイッチ部に液体が入り、感電やモーター故障の原因になります。

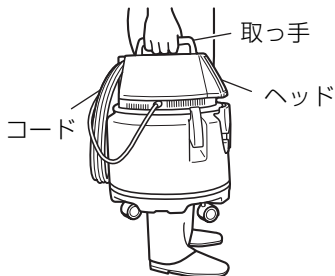
⚠ 注　意

- **タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。**
  変形、破損の原因になります。
- **粉じんの吸込量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日1回以上捨て、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。**
  吸込力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。
- **タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。**
  クランプが破損する原因になります。

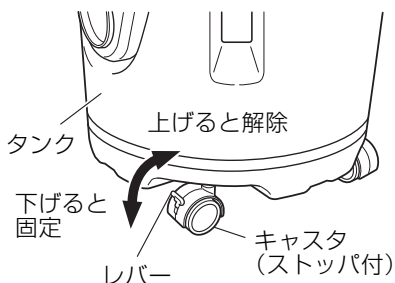
注 **• 粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っかけないようにポリ袋を取り出してください。**
ポリ袋が破れる原因になります。

• ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。
ポリ袋が破れる原因になります。

(1) クランプ（3個）（5ページの図参照）をはずして、ヘッドの取っ手を上方へ引き上げます。
(2) フィルタの内側面を数回軽くたたいて、フィルタに付着した粉じんを落とします。次に、タンクからフィルタとフィルタケージをはずします。
(3) タンクを倒し、粉じんを捨てます。
(4) フィルタ、フィルタケージ、ヘッド、クランプをもとの位置に取付けます。

9．運搬・保管

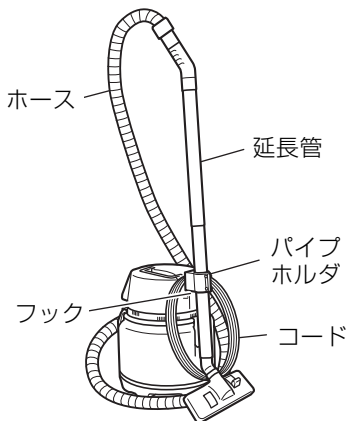
⑴ 取っ手の使用方法

運搬・移動する場合は、左図のようにヘッド部の取っ手を持って行ないます。

取っ手を使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。

⑵ キャスタの固定・解除

キャスタ（ストッパ付）のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。

機体を車に積んで移動する場合、キャスタを固定すると機体の動き止めができ便利です。

ただし、機体を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタの破損の原因になります。

⑶ 機体を保管する場合

掃除の途中にちょっと中断したいときに、フックに延長管のパイプホルダを掛けることができます。
そのまま保管できます。
コードも束ねて掛けることができます。

10．紙フィルタ（別売部品）の取付け方

⚠ 警　　告

- **必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
- **紙フィルタを使用するときは、標準付属の布フィルタと併用してください。**
  万一、紙フィルタが破損したとき、モーターに粉じんが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

⚠ 注　　意

- **紙フィルタ使用時は、水などの液体、湿った粉じんを吸わせないでください。**
  破ける原因になります。

(1) 紙フィルタの吸込用の穴がタンクの上側になるよう紙フィルタを横方向に広げます。（左図）

(2) 機体に装着する前に、ボール紙についている2ヵ所の折り目を矢印の方向へ折り曲げます。（下図）

(3) 紙フィルタの吸込用の穴を機体の吸込口に合わせます。図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください。

フロート機構について

⚠ 警　告

- **フロート機構が作動したままで、運転を続けないでください。**
  モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーター焼損など故障の原因になります。
- **洗剤など発泡性の液体や泡を吸い込ませないでください。**
  フロートが作動する前に空気の出口から泡がふき出します。
  そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

この機体には、一定量以上の水を吸い込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構が付いています。

フロート機構が作動すると、水を吸い込まなくなります。その時は、速やかにスイッチを切り、タンク内の水を捨ててください。

保守・点検

⚠ 警　告

- **点検・手入れの際は、必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
- **ぬれた手で作業しないでください。**
  感電やけがの原因になります。

1．フィルタの手入れ

注
- **フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをお勧めします。**
- **フィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたく程度にしてください。**
  ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。

フィルタが目詰まりしますと、吸込力が著しく低下しますので、フィルタの内側を軽くたたき、こまめに除じんしてください。

2．各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

3．モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

4．表面のよごれの清掃

機体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布かまたは石けん水をつけた布などでふいてください。

塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

5．機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0626㈹
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751㈹
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676㈹
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0629㈹
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811㈹
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311㈹
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451㈹
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537㈹
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191㈹
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772㈹

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

日立工機株式会社

507

部品コード　C99143301